

2024.04.20

JOSA 公認『オブスタクルスポーツデモ大会 2024 in 吉野川』レポート



【デモ大会会場ゲート】

4月20日に日本初のJOSA公認『オブスタクルスポーツ吉野川コース』の完成を祝して、JOSA公認『オブスタクルスポーツデモ大会 2024 in 吉野川』が開催されました。

大会前の4月18・19日には、POSF(フィリピン・オブスタクルスポーツ連盟)からFISO(国際オブスタクルスポーツ連盟)の公認講師を二名招聘し、JOSA主催のコーチング講習会・審判講習会を実施。

日本でもFISO公認のコーチ・審判が誕生、20日のデモ大会で審判としてさっそく活躍していただきました。



【デモ大会当日の審判団】

19日の夜には、実行委員会主催の前夜祭が開催され、後藤田正純徳島県知事、原井敬吉野川市長、Alberto Agra フィリピン&アジア・パシフィック連盟会長、Ian Adamson 国際オブスタクルスポーツ連盟会長からご挨拶をいただきました。

また、この日に誕生日を迎えた JOSA 公認アスリートの山本遼平選手に JOSA からユニフォームを贈呈しました。

前夜祭の最後には「無双連」(阿波おどり振興協会所属)が闖入して、参加メンバー全員で踊る、という楽しい演出もあり、大いに盛り上がりました。



【後藤田徳島県知事】



【POSF 選手団】



【無双連の踊りで盛り上がる】

いよいよ大会当日です。

MC 小春さんと竹内玲奈さんの進行で、午前 10 時より来賓をお招きしての式典とテープカットでコースの完成を祝い、地元の小中学生のダンスユニット『ときめきキッズ吉野川』に市長が加わってのダンスで盛り上がります。



【MC の小春さんと竹内玲奈さん】



【髙松島組デモ大会実行委員長】



【原井敬吉吉野川市長】



【黒白昭二日本近代五種協会専務理事】



【テープカット】



【風船が空に舞い上がる】



【『ときめきキッズ吉野川』と原井市長のダンス】

続いてフィリピンから招いた、世界の舞台で戦うアスリート 3 名とジュニアアスリート 2 名、そして JOSA 公認アスリートである山本遼平選手によるデモンストレーションが披露されました。

まずはジュニアアスリートの TRISHA と EDRIS が走ります。

そのあとに、ワールドレコード保持者の女性アスリート、PRECIOUS と KAIZEN のパフォーマンス。

最後に 3 つの世界記録保持者の JAYMARK と山本遼平が風のように走り抜けます。

世界トップレベルの、目を見張るパフォーマンスには、一同、くぎづけでした。

パフォーマンスのあとのインタビューでは、アスリートたちが口をそろえて素晴らしいコースだ、と評価してくれたのが印象的でした。



【TRISHA】



【EDRIS】



【TRISHA&EDRIS インタビュー】



【PRECIOUS】



【KAIZEN】



【PRECIOUS&KAIZEN】



【PRECIOUS&KAIZEN インタビュー】



【JAYMARK】



【RYOHEI】



【JAYMARK&RYOHEI インタビュー】

次に、事前に参加者を募集した 50 名の一般参加選手によるタイムトライアルレースが行われました。前日と当日の朝に練習時間を設けましたが、もちろん経験の浅い選手ばかりなので、急遽、前日にタイムトライアルレース用特別ルールを設け、できるだけ選手たち全員にコースを完走してもらえらるための配慮も行いました。





このあと、男性部門は上位 10 名による決勝を行うため、集計の時間、MC による呼びかけからもう一度、トップアスリートたちに走ってもらうことに。
タイムトライアルレースのあとだけに、そのスピード、テクニックに改めて称賛の声しきり。一度目は、バランスビームでバランスを崩した山本遼平選手は完璧に完走し、ゴールでは気迫のガッツポーズを見せていました。



【TRISHA】



【KAIZEN】



【JAYMARK】



【RYOHEI】



【ガッツポーズ】

その後、行われたタイムトライアルレースの決勝では、選手全員が見事に完走、9人中5人が予選タイムを大幅にクリア。



男性部門の上位 3 名には表彰状と記念品、女性部門の優勝者には表彰状、そして優勝者を含む参加者三名には記念品が贈られました。



さいごにコースの体験会が行われ、観客でいらした多くの親子がオブスタクルスポーツ施設を楽しむ姿が印象的でした。





会場には 12 台のキッチンカー、子どもたちが遊べるようにキッズコーナーやオリジナルTシャツとタオルの販売ブース、トップアスリートのサイン会なども用意され、来場者は思い思いに楽しんでいました。



【キッチンカー】



【キッズコーナー】



【オリジナルグッズ販売】



【サイン会】

また、ビジョンカーも設置されて、どこにいてもイベントの様子を楽しめる工夫もされ、TBS、現地の複数メディア(ケーブルテレビ2局・新聞・雑誌など)による取材も行われ、デモ大会の様子はライブで放映もされ、デモ大会は予想以上の成果を残すことができました。



【ビジョンカー】

今回、大会の実行委員会委員長および JOSA 四国ブロック長が大会のコンセプトを「No Obstacle, No Life!!」としました。

これは、オブスタクルスポーツがない人生なんて考えられない、というメッセージとともに、人生にはオブスタクル=障害がつきもの、だからこそそれにチャレンジし乗り越えて自分の人生を切り拓いていこう、という想いも込められています。



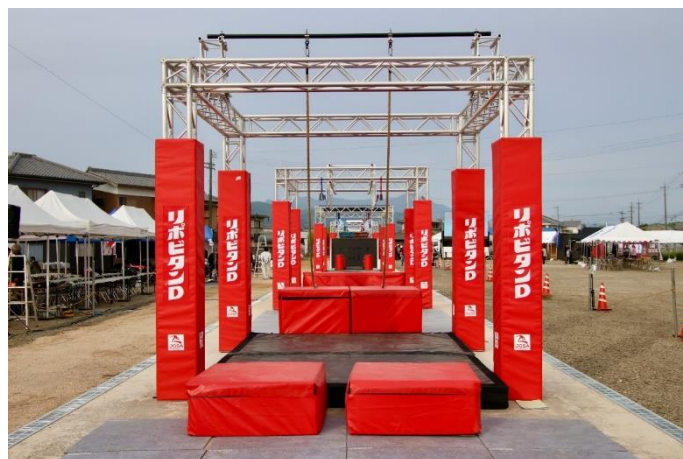
【デモ大会パンフレット】

閉会の辞は、来賓の松島清照忌部文化研究所代表理事にいただきました。コースの設営から大会当日まで、大変お世話になり、ありがとうございました。



【閉会の辞を松島清照さまからいただく】

2024年4月20日に、日本のオブスタクルスポーツの歴史がここからスタートしました。



【実施実績】

■ 来場者数：3,000 名(延べ)

■ ご来賓：

- ・ 松島清照 一般社団法人忌部文化研究所代表理事
- ・ 松島光作 大会実行委員会委員長
- ・ 志田 敏郎 徳島県副知事
- ・ 原井敬 吉野川市長
- ・ 黒白昭二 公益社団法人日本近代五種協会専務理事
- ・ Alberto Agra フィリピンオブスタクルスポーツ連盟(POSF)プレジデント兼アジアパシフィックオブスタクルスポーツ連盟(OSFAP)プレジデント
- ・ 藤井毅浩 株式会社モルテンスポーツ 事業本部 技術開発統括部 統括部長
- ・ 野上等 一般社団法人日本オブスタクルスポーツ協会理事長

■ 式典コンテンツ：

- ・ 来賓ご挨拶
- ・ 『ときめきキッズ吉野川』ダンス
- ・ テープカット

■ 招待選手：6 名

■ 一般トライアル参加選手：50 名(男性：47 名 女性：3 名)

居住都道府県		年代								
		10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
徳島県	32	3	3	3	6	10	4	1		2
東京都	4					1	1	2		
千葉県	2			1		1				
大阪府	2					2				
兵庫県	1							1		
山形県	1			1						
島根県	1				1					
広島県	1			1						
静岡県	1		1							
埼玉県	1								1	
香川県	1				1					
岡山県	1				1					
香港	2			1					1	
合計	50		1	4	3	4	1	3	2	2

■ 体験会参加者：200 名（上限 200 名）

■ タイムトライアル参加選手提供品

- ・ リポビタンゼリーSports（大正製薬株式会社様）
- ・ Ninja ソックス（株式会社三笠様）

■ 入賞者賞品（男性部門 1～3 位/ 女性部門 1 位、参加賞 2 名）

- ・ 表彰状
- ・ リポビタンシリーズ（大正製薬株式会社様）
- ・ トートバッグ（デサントジャパン株式会社様）